

令和7年度

サプライチェーンCO₂排出量見える化・削減の 最新動向および事例報告会

～激動の世界環境の中、今後の脱炭素の方向性を学ぶ～

日時

令和7年7月4日(金) 13:00~15:20

会場

鳥取県立図書館2F大研修室 (鳥取市尚徳町101)

国内外において取引を行う上で、製品のサプライチェーン上で発生するCO₂排出量を把握し、情報公開を行う環境整備が着々と進みつつあります。

本セミナーでは、県内企業のみならず、脱炭素の動きが進む中でも、取引の維持・拡大を図っていくことができるよう、**経済産業省の御担当者**と、企業の**CO₂排出量算定見える化・削減を支援している民間企業様**をお招きし、**脱炭素に関する最新動向と中小企業が取り組むべきCO₂排出量の算定等の必要性について**解説を行っていただきます。

さらに、昨年度、自社製品等のCO₂排出量算定に取り組まれた、**県内企業4社から算定の取組内容や気付き点等をご紹介します。**

CO₂排出量の最新動向や削減の取組は、脱炭素時代の経営戦略を考える上で、益々重要となっており、身近な先行事例を知ることができるまたとない機会ですので、是非、ご参加ください。

【プログラム】※講演内容は裏面に記載



「カーボンニュートラルに向けた国内外の最新動向及び今後の情報開示、

商品表示について」(13:05~13:45)

中国経済産業局 資源エネルギー環境課 専門職 長尾 博行 氏



「中小企業が取り組むべきカーボンフットプリント」(13:50~14:30)

株式会社Sustech セールススペシャリスト 高橋 泰郎 氏

自社製品等のCO₂排出量見える化の取組事例(五十音順)(14:35~各10分程度)

愛ファクトリー株式会社



イナバゴム株式会社



日ノ丸産業株式会社



大江ノ郷自然牧場グループ 有限会社ひよこカンパニー

講演内容等紹介

ながお ひろゆき
中国経済産業局 資源エネルギー環境課 専門職 長尾 博行 氏

「カーボンニュートラルに向けた国内外の最新動向及び今後の情報開示、商品表示について」

カーボンニュートラルに向けた国内外の動向（気候変動対策に関する国際会議（COP29）の結果概要、GX法、GXビジョン2040等）や脱炭素経営における情報開示状況、自動車を例示として企業間のカーボンフットプリントデータ共有の枠組みやカーボンフットプリント商品表示ガイド等について解説していただきます。

※中国経済産業局 資源エネルギー環境課
経産省所管に係る中国地方のエネルギー、環境関連施策を担当。カーボンニュートラルの推進やエネルギーに関する広報の役割を担う。

たかはし やすお
株式会社Sustech 高橋 泰郎 氏「中小企業が取り組むべきカーボンフットプリント」

今後、大企業と取引を行う上で要請される、地方の中小企業のGHG排出量算定の内容やGHG排出量を算定する際に外部データ（排出原単位データベース）でなく企業自身で算定を行うメリットについて解説していただきます。また、Sustechの支援のもとで取り組まれている、中小企業の業種別の算定状況や具体的な取組状況についても報告していただきます。

※株式会社Sustech
2021年6月設立。テクノロジーを活用したインパクトのあるグリーンビジネスの実現を目指し、カーボンニュートラル化を実現するGHG排出量算定ツール「CARBONIX」等の包括的な複数のソリューションを提供。鳥取県内においては、中小企業に対し、「CARBONIX」の普及を中心としたGHG排出量算定支援を行う等、地域に根ざした脱炭素の取り組みを推進。

事例報告企業紹介

愛ファクトリー株式会社（本社：鳥取県鳥取市）

○CO₂見える化を試みた製品・サービス：土耕・水耕栽培における葉物野菜

○算定後の気づき・成果：備品の原材料によってGHG排出量が異なり、仕入れ量や調達先に改善点を見出せた。

日ノ丸産業株式会社（本社：鳥取県鳥取市）

○CO₂見える化を試みた製品・サービス：灯油の定期巡回配送サービス

○算定後の気づき・成果：個人での灯油購入より定期配送サービス運用の方が対象地域の脱炭素に貢献できることが数値で実証でき、別の配送ルートでも検証したい。

有限会社ひよこカンパニー（本社：鳥取県八頭町）

○CO₂見える化を試みた製品・サービス：天美卵

○算定後の気づき・成果：自社の主力商品について、各工程で使用する資材によってCO₂排出量や環境負荷が異なることを理解できた。

イナバゴム株式会社（本社：大阪府大阪市、鳥取工場・技術開発センター：鳥取県鳥取市）※2回目の支援

○CO₂見える化を試みた製品・サービス：工業用精密ゴム製品

○算定後の気づき・成果：SCOPE3について社内のCO₂排出量のデータのシステム化のための基礎が整理できた。

「サプライチェーンCO2排出量見える化・削減の最新動向および事例報告会」参加申込書

事業者名		
連絡先 (担当者)	氏 名	_____
	所属役職	_____
	メー ル	_____
	電 話	_____
参加者名	☐ 担当者と同じ	
	(所属・役職)	(氏名)
	(所属・役職)	(氏名)

参加申込方法 ※以下の①～③いずれかの方法でお申込みください。

①電子申請
右記二次元コードから申請してください。

②メール
参加申込書の各項目をメール本文にご記入のうえ、以下のメールアドレスに送付してください。
【商工政策課メールアドレス】 shoukou-seisaku@pref.tottori.lg.jp

③FAX
参加申込書をご記入のうえ、以下のFAX番号に送付してください。
【商工政策課FAX番号】 0857-26-8117

電子申請用
二次元コード→



商工政策課 課 究